

## セット球を用いたたまねぎ初冬どり作型の栽培法

### 【1 成果の概要】

たまねぎ栽培では、一般的に苗を定植しますが、苗の代わりに球径約 20 mm のたまねぎ小球「セット球」を用いる栽培法があります。セット球を用いたたまねぎ栽培は、高単価が期待できる 11~12 月の新たまねぎの端境期出荷が可能となる技術です。春まき作型などの既存の作型と組み合わせることで出荷期の拡大による収益性向上が期待できます。初冬どり作型に適する定植時期、マルチの種類、窒素施肥量を明らかにしました。

- (1) 定植適期は8月上旬です。
- (2) 高温期に定植するため、白黒ダブルマルチが適します。
- (3) 基肥の窒素施肥量を 10 kg/10a とし、最適条件(遮根・288 穴セルトレイ・被覆肥料培土重量比 4% 添加)で育苗したセット球を用いた場合に期待できる商品収量は 3 t/10a です(表 1)。

作型	品種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	適応地域	栽植距離	摘要
		上中下														
初冬どり	シャルム		○	○	○	○	○	○	●					県内全域	150cm×12cm 4条(22,222株)	白黒 ダブル マルチ

◡ : ハウス ◩ : トネル ○ : 播種 ◡ : 遮光、高温処理 ◩ : セット球調製 ◡ : 低温貯蔵 ● : 定植  
 ◡ : マルチ --- : 育苗期間 — : 生育期間 ◡ : 収穫期間

表 1 施肥量試験結果(2020年)

施肥量 (N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O kg/10a)	調製重 (g)	腐敗球率 (%)	商品収量 (t/10a)
0-0-0	124.3	10.0	2.4
10-10-10	161.5	8.4	3.2
10-20-10	174.6	9.5	3.2
15-15-15	170.8	7.7	3.2
15-30-15	174.1	14.2	3.0
20-20-20	152.1	6.8	2.8



図 1 栽培の様子

### 【2 留意事項】

- (1) セット栽培専用品種「シャルム」(タキイ種苗)を用います。当品種は、同時期に流通する加熱調理向け品種と比較して、生食適性が高いです。
- (2) 育苗方法は、研究レポートNo.1031をご覧ください。
- (3) 県北部(軽米町)での試験結果であり、県南部の定植時期は8月上旬よりもやや遅くなる可能性があります。
- (4) 凍結による腐敗を防ぐため、11月上旬(降雪前)までに収穫を行います。
- (5) ネギアザミウマやべと病、灰色腐敗病等による被害が懸念されるため、適用薬剤による防除を実施します。灰色腐敗病は、りん茎の腐敗の原因となるため注意が必要です。
- (6) 詳細につきましては「令和2年度試験研究成果」をご覧ください。